

株主の皆様へ

第117期 中間報告書
平成27年4月1日～平成27年9月30日

For New Technology Network

NTN®

NTN 100

NTN Transformation for Next 100

2015.04～2018.03

次の100年に向けた
NTNの変革

NTN株式会社
証券コード | 6472

中期経営計画「NTN100」(2016年3月期～2018年3月期)

基本方針 3つの基本方針のもとで重点施策を進め、お客様にとってCo-creative (共創的) なパートナー企業への変革を図る

攻める経営

経営資源 (ひと・もの・かね) を重点分野へ集中

- ①新たな領域での事業展開
- ②アフターマーケット事業の拡大

稼ぐ経営

規模に依存せず価値を追求する企業への変革

- ③ドライブシャフト事業の構造改革
- ④次世代技術による「もの造り」

築く経営

経営基盤・財務基盤の強化

- ⑤真のグローバル企業としての経営基盤の確立
- ⑥収益管理の強化と資産効率の向上

当社の企業理念

新しい技術の創造と新商品の開発を通じて国際社会に貢献する

(For New Technology Network : 新しい技術で世界を結ぶ)

- ◎独創的技術の創造
- ◎客先及び最終消費者に適合した付加価値技術及びサービスの提供
- ◎着実な業績の伸長の下での社員の生活向上、株主への利益還元、社会への貢献
- ◎グローバル化の推進と国際企業にふさわしい経営・企業形態の形成

NTNは、軸受(ベアリング)を主力商品として、グローバルに事業を展開する精密機器メーカーです。

1918年の創業以来、自動車をはじめ建設機械、農業機械、航空機、鉄道車両、風力発電機、食品機械、さらに医療や環境関連機器など幅広い分野で商品や技術を提供しています。



CONTENTS

| | |
|---------------|-------|
| トップインタビュー | …… 2 |
| セグメント別の概況 | …… 7 |
| 事業形態別の概況 | …… 9 |
| 連結財務諸表 | …… 11 |
| 高機能モジュール商品の開発 | …… 13 |
| 会社情報 | …… 14 |
| 株式情報 | …… 14 |

【見通しに関する注意事項】

本報告書には、NTNの将来についての計画・戦略・業績に関する予測と見通しが含まれています。実際の業績は本報告書で述べられている見通しと異なる可能性があることをご承知おきください。



代表取締役社長 **大久保 博司**

中期経営計画「NTN100」の3年間で、「あるべき姿」に向けた変革と礎づくりを目指します。

Q 当第2四半期の経営成績についてお聞かせください。

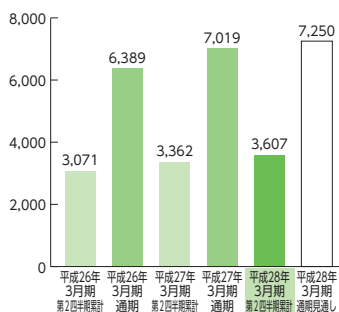
A 当第2四半期連結累計期間（平成27年4月1日～平成27年9月30日）における日本経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果もあり、緩やかな回復基調が続きました。海外においては、米国経済は回復が続き、欧州経済も緩やかに回復する一方で、中国やその他新興国の景気に減速感がみられました。

このような環境のもと、当社グループは本年4月にスタートした3年間の中期経営計画「NTN100」において、平成30年3月に迎える創業100周年と次の100年の持続的成長のため、「あるべき姿」に向けた変革と礎づくりを目指し、経営資源（ひと・もの・かね）を重点分野に集中する「攻める経営」、規模に依存せず価値を追求する企業へと変革する「稼ぐ経営」、経営基盤と財務基盤を強化する「築く経営」の3つを基本方針とし、諸施策を推進しております。

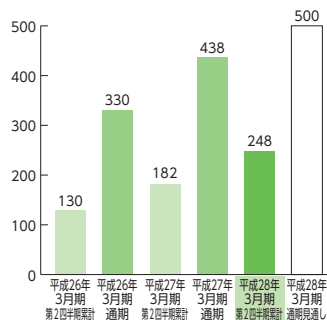
当第2四半期連結累計期間の売上高は、360,771百万円（前年同期比7.3%増）となりました。損益につきましては、営業利益は24,819百万円（前年同期比35.9%増）、経常利益は18,002百万円（前年同期比8.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は10,391百万円（前年同期比12.1%増）となりました。

決算ハイライト

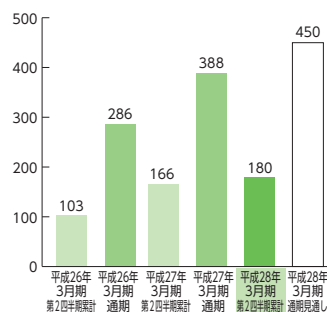
売上高(億円)



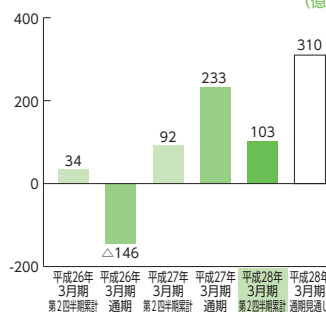
営業利益(億円)



経常利益(億円)



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益(△は純損失)(億円)



Q

各施策の進捗と今後の課題について教えてください。

A

①法令・規則遵守のための体制強化

当社グループは、コンプライアンスの徹底を最重要課題の一つとして捉えており、法令・規則遵守のための体制強化に取り組んでおります。

<各当局の調査等の経過>

当社は、平成24年6月、ベアリング（軸受）の国内取引に関して、独占禁止法（以下、独禁法）違反の容疑で、当社元役員とともに東京地方検察庁より起訴され、平成25年3月には、公正取引委員会より排除措置命令及び課徴金納付命令（7,231百万円）を受けました。これらの前提となる事実認定は、当社の認識とは異なりますので、同年4月、両命令を不服として審判請求を行い、同年9月に審判手続きが開始されました。また、同年12月から刑事裁判の公判が開始され、本年2月、有罪との第一審判決が宣告されましたが、当社及び当社元役員は本判決に不服があるため控訴し、本訴訟は東京高等裁判所に係属しています。

海外におきましては、韓国などの連結子会社において、当局の調査などを受けております。

また、当社並びに当社の米国及びカナダの連結子会社は、他の事業者と共同してベアリング（軸受）の販売価格の引上げを決定したとして、米国及びカナダにおいて複数の民事訴訟（クラスアクション）の提起を受けております。

株主の皆様には、多大なご心配をおかけしておりますことを深くお詫び申し上げます。

当社グループは、今後とも法令、社会規範、倫理、社内規程等の遵守をグローバルに徹底するための体制を強化し、更に、公正・誠実な競争による事業活動を推進してまいります。

<体制強化>

独禁法及び下請代金支払遅延等防止法遵守の徹底のため、「公正取引監察委員会」の指示の下、「公正取引推進部」を中心に活動を推進しています。

また、昨年設置しました「CSR（社会的責任）推進本部」は、公正取引推進部を含む企業の社会的責任に関連する部門を統括し、法規範の遵守と社会的責任を当社グループ全体で推進しています。また同時に、各海外地区総支配人室に設置しました「内部統制課」との連携を強化し、海外におけるコンプライアンス体制を構築・強化しています。

公正取引推進部は、社内研修等啓発活動に加え、独禁法遵守に関する自己監査、競合他社との接触を予防・監視するための事前申請等を義務付け、競合他社との接触状況の全体像を確認できる体制にしています。

海外におきましても、各海外地域における内部統制課との連携により、地域主体の研修や事前申請等の審査及び自己監査を行う体制を構築し、各地域の競争法に対応した遵法体制の再構築を進めております。

この体制で、継続的な教育・啓発等の活動と、総括的な統制の強化を実施しております。

②中期経営計画「NTN100」の進捗

当社グループは、本年4月から平成30年3月までの3年間の**新たな中期経営計画「NTN100」**を策定し、取り組んでおります。「NTN100」は、「**NTN Transformation for Next 100**（次の100年に向けたNTNの変革）」の頭文字を取ったもので、平成30年3月に迎える創業100周年と次の100年の持続的成長のため、「あるべき姿」に向けた変革と礎づくりの3年間と位置づけています。

「NTN100」では、ひと・もの・かねといった経営資源を重点分野に集中する「**攻める経営**」、規模に依存せず価値を追求する「**稼ぐ経営**」、企業の土台になる経営基盤、財務基盤を強化する「**築く経営**」の3つの基本方針のもとで、それぞれの重点施策を進めております。

<攻める経営>

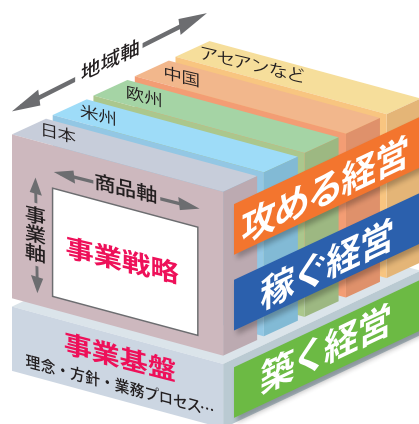
本年3月、軸受、等速ジョイントに次ぐ新しい事業分野として、革命的な高効率翼技術を活用した**自然エネルギー**

ギヤ事業への参入を決定しました。弱風でも高効率で回転エネルギーに変換できる「翼」技術を持つベンチャー企業（株式会社グローバルエナジー及び株式会社ベルシオン）と、特許・意匠を独占的に使用できる専用実施権契約を締結し、当社グループが持つ転がり軸受や磁性材料の技術を活用することで、小形風力発電装置や水力発電装置等の開発、生産、販売に取り組んでまいります。現在は複数の拠点で実地試験を行っており、平成28年の販売開始を目標に準備を進めております。

EV事業では、電気自動車をはじめとする次世代自動車の安全走行を支える商品開発を加速しております。自動車の基本機能として欠かすことのできない「走る」に対しては、「次世代EV用『2モータオンボード駆動システム』」を開発し、当社が世界シェアNo.1を誇るハブベアリングと世界シェアNo.2のドライブシャフトを本システムと組み合わせモジュール化することで、小型・軽量化を図ると共に、お客様にとって最適な設計を一括提案してまい

「NTN100」の基本方針

3つの基本方針のもとで重点施策を進め、お客様にとってCo-creative（共創的）なパートナー企業への変革を図る



経営資源(ひと・もの・かね)を重点分野へ集中

- ① 新たな領域での事業展開
- ② アフターマーケット事業の拡大

規模に依存せず価値を追求する企業への変革

- ③ ドライブシャフト事業の構造改革
- ④ 次世代技術による「もの造り」

経営基盤・財務基盤の強化

- ⑤ 真のグローバル企業としての経営基盤の確立
- ⑥ 収益管理の強化と資産効率の向上

トップインタビュー

ります。また、「曲がる」、「止まる」に対しては、電気信号で操舵する次世代ステアリングシステムを安全面から支える「メカニカルクラッチユニット」や、電動油圧ブレーキの信頼性を高める「ボールねじ駆動モジュール」等の量産を開始しており、事業拡大を推進しております。

ロボット関連事業では、「人との協働、共生」をテーマに、NTNの持つ独自技術を、新たなニーズに適合させ開発した商品をグローバルに展開しております。高速かつ正確な位置決め動作により自動生産設備の生産性向上に貢献する「パラレルリンク型高速角度制御装置」等の市場展開を加速しております。また、新たに開発した小型・非接触式の三次元測定機においてクラス最速レベルを実現した「微細三次元形状測定機」や、ピコリットルの微細な液滴を0.1秒の高速で高精度に塗布できる「卓上型高速微細塗布装置」等の市場展開も開始しました。

サービス・ソリューション事業では、「ビッグデータを活用した事業」を構築し、軸受の状態監視や診断技術、センシング技術を活用し、これまでの「もの」の提供のみならず、サービス・ソリューションの提供にも事業を展開しております。大型風力発電設備の稼働状況を常時モニタリングする「風力発電装置用状態監視システム (CMS) Wind Doctor[®]」は、現在日本の40箇所でも実証実験を行っており、「ハンディ型異常検知装置」の市場展開も含めて、技術の高度化と共に、販売拡大を進めております。

「アフターマーケット事業の拡大」では、「**品揃えとエンジニアリング・サービスで顧客満足度世界No.1**」を目指しております。日本の補修市場のお客様への直接訪問や技術サービス強化のため、昨年4月、人員を大幅に増員しました。海外においては、欧州をはじめ、米州や中国等で自動車補修ビジネスを拡大しております。また、

産業機械補修ビジネスでは、代理店とその先のお客様へテクニカル・サービスカーで訪問するキャラバン活動を強化しております。新興国における需要の減少など、一部地域で経済動向の弱さもみられますが、品揃えの充実と受注から納入までのリードタイム短縮、エンジニアリング・サービスの拡充等を通じて、グローバルで**プラント設備補修等**への攻勢を強めてまいります。

<稼ぐ経営>

「ドライブシャフト事業の構造改革」では、収益拡大を最重要課題と位置づけ、品質・コスト・納期・技術面も含めて、顧客満足度世界No.1の「NTNのドライブシャフト」と呼ばれるように体質を改革しております。販売・技術面では、プレミアムカー向けの販売構成や、高機能、高効率、超軽量、超高角度等の特長を持つ高付加価値商品の構成を高めております。また、生産面では材料の現地調達化を急ぐと同時に、材料の無駄を極限まで無くした加工法や、部品の設計変更等に踏み込んだ対策を進めており、足元では当初想定を上回る勢いで改善が進んでおります。

「次世代技術による『もの造り』では、「次の100年に向けた『もの造り』方式の革新」をテーマに、革新的な製造技術を導入することで、コスト競争力の強化、設備単価の低減、リードタイム短縮、中間在庫の廃止、省エネルギー/省資源の実現等を図っております。主な施策として、搬送設備やロボットを組み合わせることで、半自動機から自動機へ変更可能な製造ラインを開発し、世界各地に展開しております。また、グローバルにおける品質管理強化の重要性から、「メイド・バイ・NTN」による世界同一基準での品質保証体制を確立します。

中国では、自動車生産台数の増加と新規案件の獲得に伴い、昨年1月、台湾の裕隆グループである江申工業股份有限公司との合併会社襄陽恩梯恩裕隆傳動系統有限公司（湖北省襄陽市）を中国で3番目の等速ジョイント生産拠点として設立しました。本年4月より、中国で生産する世界の自動車メーカへ供給を開始しております。

メキシコでは、自動車メーカや自動車部品メーカの拠点新設を背景に、アクスルベアリング等の需要増加に伴い、平成25年4月、NTN MANUFACTURING DE MEXICO,S.A.DE C.V.（アグアスカリエンテス州アグアスカリエンテス市）を設立しました。本年12月よりメキシコ国内の自動車メーカ等に供給してまいります。

<築く経営>

「経営基盤の強化」では、世界共通の行動規範としての「企業理念」をNTNグループ全従業員へ浸透させること、グローバル企業として、コンプライアンスの徹底やガバナンス、ダイバーシティへの対応強化を進めます。昨年4月、「グローバル人材育成部」を新設し、国や地域を越えて活躍できるグローバル人材の育成等を強化し、現場力を高める継続的**「ひと造り」**を推進しています。育児短時間勤務制度の拡充や企業内託児所の整備等、働きやすい職場、環境づくりに取り組んでまいります。また、ますます重要性を増すCSRに関しては、これまで以上に当社グループが事業を展開している地域社会における活動に注力し、地元から愛される企業としての社会貢献や環境保全活動に力を入れてまいります。

「財務基盤の強化」では、「収益管理の強化と資産効率の向上」に向けた諸施策を実行してまいります。有利子負債の削減と棚卸資産回転率の向上、退職給付債務の

圧縮、売上高利益率向上の諸施策を通じて、財務体質の健全化を目指し、長期的に安定した株主の皆様への利益還元を継続的に実施してまいります。

当社グループは、新しい技術の創造と新商品の開発を通じて国際社会に貢献するため、法令・規則の遵守、公正・誠実を基本に、以上の諸施策を実施することにより経営基盤の一層の強化と業務の効率化に努め、収益向上に邁進してまいります。

株主の皆様には今後ともご支援とご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

グローバル品質管理と供給体制の強化



襄陽恩梯恩裕隆傳動系統有限公司



NTN MANUFACTURING DE MEXICO,S.A.DE C.V.

通期の業績見通し

(億円)

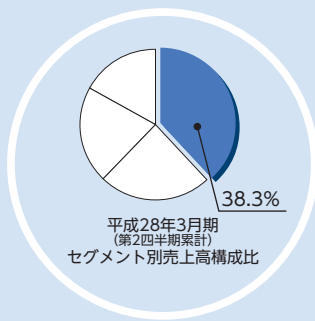
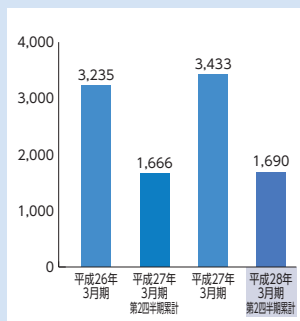
| | 当期(見通し) 平成28年3月期 | 前期(実績) 平成27年3月期 |
|---------------------|---------------------|--------------------|
| 売上高 | 7,250 | 7,019 |
| 営業利益 | 500 | 438 |
| 営業利益率 | 6.9% | 6.2% |
| 経常利益 | 450 | 388 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 310 | 233 |

セグメント別の概況

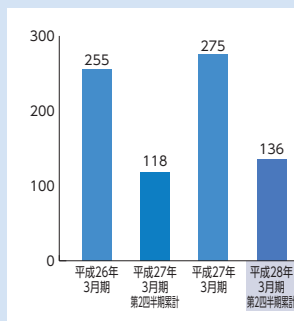
日本

販売につきましては、補修市場向けは産業機械補修向け客先需要の拡大などにより増加しましたが、産業機械市場向けは建設機械向けなどで減少しました。自動車市場向けは客先需要の拡大などにより増加しました。この結果、売上高は169,044百万円（前年同期比1.4%増）となり、セグメント利益は為替の影響などにより13,618百万円（前年同期比15.1%増）となりました。

▶ 売上高推移 (億円)



▶ セグメント利益推移 (億円)



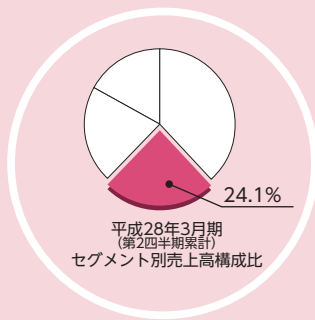
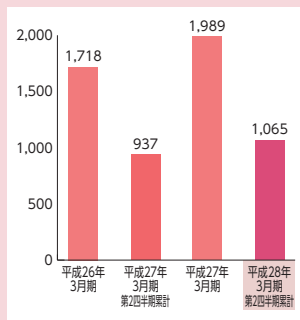
▶ 主な施策

- ・グローバル人材の育成等の強化
- ・技術キャラバン活動の強化
- ・自然エネルギー事業への取組み
- ・高性能モジュール商品の開発

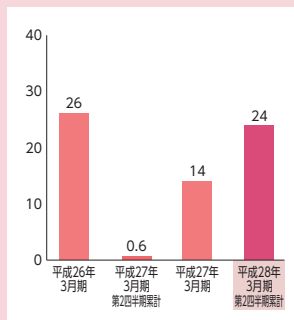
米州

販売につきましては、補修市場向けは産業機械補修向けで減少しました。産業機械市場向けは建設機械向けなどで減少しましたが、自動車市場向けは客先需要の拡大などにより増加しました。この結果、売上高は為替の影響もあり106,586百万円（前年同期比13.7%増）となり、セグメント利益は、比例費の削減などにより2,427百万円（前年同期は59百万円のセグメント利益）となりました。

▶ 売上高推移 (億円)



▶ セグメント利益推移 (億円)



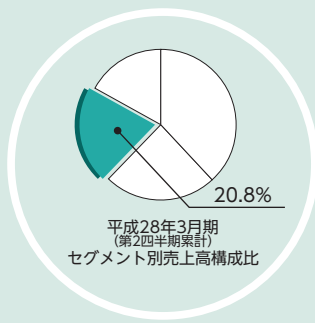
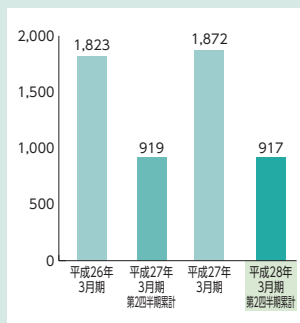
▶ 主な施策

- ・北米での自動車補修用オートパーツの品揃え拡充
- ・大手代理店との協業による補修顧客開拓
- ・NTN MANUFACTURING DE MEXICO, S.A. DE C.V.の稼働準備

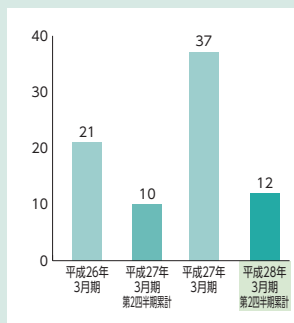
欧州

販売につきましては、補修市場向けは前年同期並みとなりました。産業機械市場向けは風力発電向けや航空機向けなどで増加し、自動車市場向けも客先需要の拡大などにより増加しましたが、全体としては、為替の影響があり売上高は91,716百万円（前年同期比0.3%減）となりました。セグメント利益は、販売増加の効果や固定費の削減などにより1,276百万円（前年同期比20.4%増）となりました。

▶ 売上高推移 (億円)



▶ セグメント利益推移 (億円)



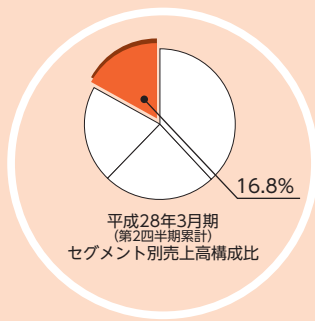
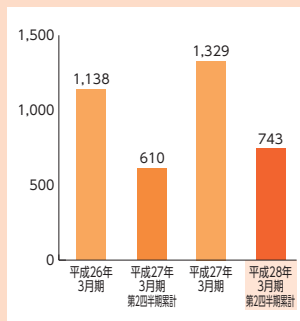
▶ 主な施策

- ・西欧での代理店向け販売強化
- ・東欧・ロシアなどでの新規補修需要の開拓

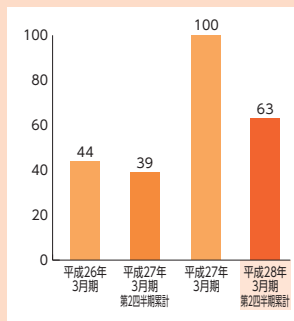
アジア他

販売につきましては、補修市場向けは主にアセアン地域での産業機械補修向け客先需要の拡大などにより増加しました。産業機械市場向けは建設機械向けなどで減少しましたが、自動車市場向けは中国での客先需要の拡大などにより増加しました。この結果、売上高は為替の影響もあり74,392百万円（前年同期比21.9%増）となり、セグメント利益は販売増加の効果などにより6,361百万円（前年同期比61.7%増）となりました。

▶ 売上高推移 (億円)



▶ セグメント利益推移 (億円)



▶ 主な施策

- ・技術キャラバン活動の強化
- ・襄陽恩梯恩裕隆傳動系統有限公司の生産開始

事業形態別の概況

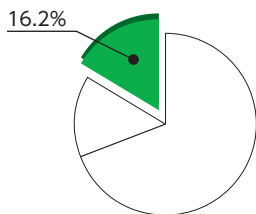
補修市場向け

営業概況

売上高、営業利益とも伸長

新規需要の開拓、客先需要の拡大及び為替の影響により売上高は58,339百万円（前年同期比6.6%増）となりました。営業利益は販売増加の効果や為替の影響などにより9,507百万円（前年同期比6.7%増）となりました。

平成28年3月期（第2四半期累計）
補修市場向け 売上高構成比



営業概況

産業機械市場向け

営業利益が大幅に

風力発電向けなどの客先需要の拡大及び為替の影響により売上高は52,824百万円（前年同期比0.4%増）となりました。営業利益は為替の影響などにより3,573百万円（前年同期比67.2%増）となりました。

補修市場向け

当社では鉱山や製紙、鉄鋼機械などの設備補修用軸受、オートパーツ（自動車補修部品）などを販売しています。また、商品購入・設備稼働後も、技術サービスの提供やグローバルな供給体制でお客様を全力でサポートしています。

密封形4列円すいころ軸受
外径：220mm～844mm



自動車用パーツキット



テクニカル・サービスカーによるキャラバン活動



アフターマーケット・アカデミー（講習会）

鉄鋼機械（圧延機）

なるほど、
ここにも
NTN。

産業機械市場向け

当社は軸受技術に限りない精度を求めています。その高められた精度がいま、人工衛星から航空機、鉄道車両、風力発電、医療機器、建設機械、農業機械、工作機械、製紙機械、事務・情報機器、食品機械など、あらゆる産業に応用されています。

航空機（ジェットエンジン用軸受）



ジェットエンジン用軸受
外径：527mm

新幹線（鉄道車両用軸受）

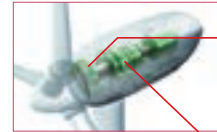


新幹線N700系鉄道車両用軸受*



TGV鉄道車両用軸受*外径：250mm

風力発電（風力発電機用軸受）



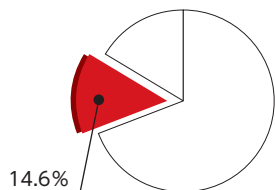
風力発電機ナセル部

主軸用軸受*外径：1,580mm

増速機用軸受*外径：980mm

伸長

平成28年3月期(第2四半期累計)
産業機械市場向け 売上高構成比



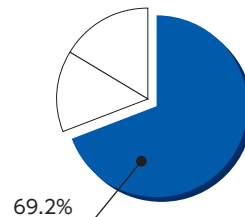
営業概況

自動車市場向け

需要拡大による販売増などで増収増益に

欧州及び中国での客先需要の拡大及び為替の影響などにより売上高は249,607百万円(前年同期比9.1%増)となりました。営業利益は販売増加の効果、比例費の削減及び為替の影響などにより11,738百万円(前年同期比62.8%増)となりました。

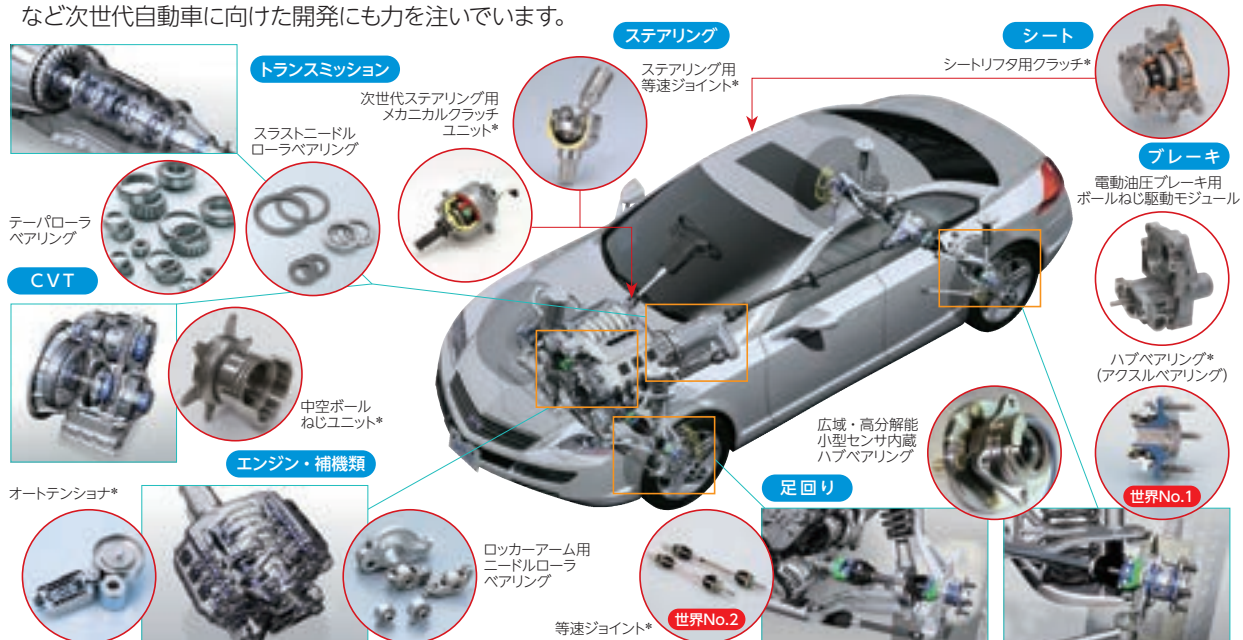
平成28年3月期(第2四半期累計)
自動車市場向け 売上高構成比



自動車市場向け

当社のベアリングや等速ジョイントは、目に見えないところで自動車の安全で快適な走行を支え、さらに燃料資源の効率的な消費にも貢献しています。小型・軽量・低トルク化に加え、NTN-SNRの持つ高いセンサ技術の活用やインホイールモータなど次世代自動車に向けた開発にも力を注いでいます。

なるほど、
ここにも
NTN。



*構造を見やすくするため、商品をカットした写真を掲載しています。

連結財務諸表

四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

| 科目 | 当第2四半期 (平成27年9月30日) | 前期 (平成27年3月31日) |
|---------------|------------------------|--------------------|
| (資産の部) | | |
| 流動資産 | 451,006 | 460,979 |
| 現金及び預金 | 76,118 | 69,094 |
| 受取手形及び売掛金 | 136,774 | 144,537 |
| 電子記録債権 | 1,774 | 1,786 |
| 有価証券 | 5,000 | 10,000 |
| 商品及び製品 | 109,234 | 103,306 |
| 仕掛品 | 49,037 | 46,512 |
| 原材料及び貯蔵品 | 33,008 | 34,309 |
| 繰延税金資産 | 10,907 | 11,062 |
| 短期貸付金 | 8 | 10,020 |
| その他 | 29,915 | 31,288 |
| 貸倒引当金 | △772 | △939 |
| 固定資産 | 387,564 | 395,297 |
| 有形固定資産 | 313,237 | 316,052 |
| 建物及び構築物(純額) | 90,190 | 88,924 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 162,938 | 163,953 |
| その他(純額) | 60,108 | 63,174 |
| 無形固定資産 | 10,744 | 9,904 |
| のれん | 173 | 193 |
| その他 | 10,571 | 9,711 |
| 投資その他の資産 | 63,581 | 69,340 |
| 投資有価証券 | 50,420 | 56,984 |
| 繰延税金資産 | 10,083 | 9,377 |
| その他 | 3,279 | 3,175 |
| 貸倒引当金 | △201 | △197 |
| 資産合計 | 838,571 | 856,277 |

(単位:百万円)

| 科目 | 当第2四半期 (平成27年9月30日) | 前期 (平成27年3月31日) |
|----------------|------------------------|--------------------|
| (負債の部) | | |
| 流動負債 | 273,259 | 301,529 |
| 支払手形及び買掛金 | 58,349 | 61,091 |
| 電子記録債務 | 59,483 | 57,778 |
| 短期借入金 | 94,464 | 120,657 |
| 未払法人税等 | 5,752 | 7,918 |
| 役員賞与引当金 | 85 | 123 |
| 関係会社支援損失引当金 | 1,559 | 1,562 |
| その他 | 53,565 | 52,398 |
| 固定負債 | 299,593 | 292,188 |
| 長期借入金 | 246,108 | 238,448 |
| 製品補償引当金 | 933 | 940 |
| 退職給付に係る負債 | 45,117 | 45,077 |
| その他 | 7,434 | 7,722 |
| 負債合計 | 572,853 | 593,717 |
| (純資産の部) | | |
| 株主資本 | 235,784 | 227,284 |
| 資本金 | 54,346 | 54,346 |
| 資本剰余金 | 67,357 | 67,369 |
| 利益剰余金 | 114,657 | 106,127 |
| 自己株式 | △577 | △558 |
| その他の包括利益累計額 | 12,687 | 17,986 |
| その他有価証券評価差額金 | 10,656 | 14,562 |
| 為替換算調整勘定 | 13,015 | 14,901 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △10,984 | △11,477 |
| 非支配株主持分 | 17,246 | 17,288 |
| 純資産合計 | 265,717 | 262,559 |
| 負債純資産合計 | 838,571 | 856,277 |

四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

| 科 目 | 当第2四半期(累計) [平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで] | 前第2四半期(累計) [平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで] |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 360,771 | 336,244 |
| 売上原価 | 289,674 | 275,389 |
| 売上総利益 | 71,096 | 60,854 |
| 販売費及び一般管理費 | 46,276 | 42,595 |
| 営業利益 | 24,819 | 18,259 |
| 営業外収益 | 2,225 | 2,175 |
| 受取利息 | 267 | 271 |
| 受取配当金 | 513 | 333 |
| 持分法による投資利益 | 505 | 515 |
| その他 | 939 | 1,054 |
| 営業外費用 | 9,042 | 3,773 |
| 支払利息 | 2,394 | 2,306 |
| 為替差損 | 4,939 | 32 |
| その他 | 1,709 | 1,434 |
| 経常利益 | 18,002 | 16,660 |
| 特別利益 | — | 305 |
| 固定資産売却益 | — | 305 |
| 特別損失 | — | 2,708 |
| 独占禁止法関連損失 | — | 2,006 |
| 過年度関税等支払額 | — | 701 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 18,002 | 14,258 |
| 法人税等 | 7,070 | 4,550 |
| 四半期純利益 | 10,932 | 9,708 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 541 | 437 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 10,391 | 9,270 |

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

| 科 目 | 当第2四半期(累計) [平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで] | 前第2四半期(累計) [平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで] |
|---------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 29,145 | 5,722 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △18,948 | △14,494 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △21,226 | △9,843 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 2,565 | 95 |
| 現金及び現金同等物の増減額(減少:△) | △8,463 | △18,520 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 87,777 | 129,670 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 79,314 | 111,150 |

当期の配当について

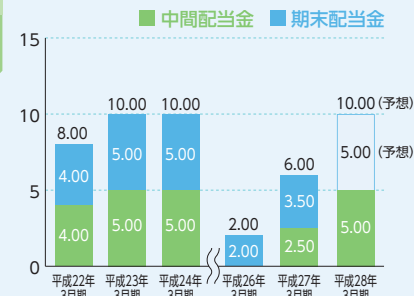
当社は、株主の皆様に対する利益還元を最重要方針の一つと考えております。配当につきましては、将来の成長のために必要な研究開発や設備投資などの資金を確保し、中長期的な視点から安定的に継続しつつ、経営成績に応じて実施することを基本方針といたします。具体的にはキャッシュ・フローの状況を勘案のうえ、連結配当性向を重視し決定することにしております。

当期につきましては、上記の基本方針を踏まえ総合的に勘案しました結果、中間配当金につきましては1株につき5円とさせていただきます。

◎中間配当金

1株当たり
金5.00円

◇配当金の推移 (円)



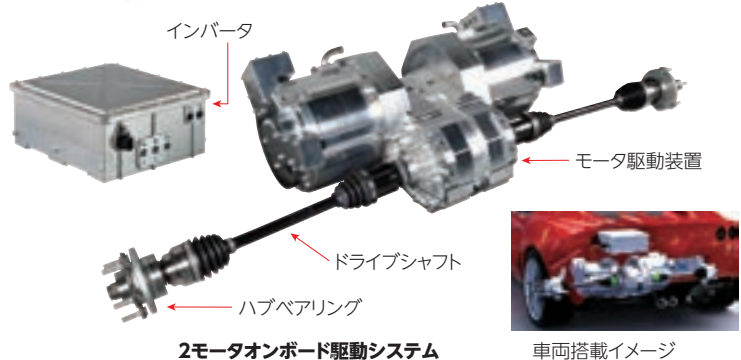
高性能モジュール商品の開発

次世代EV用「2モータオンボード駆動システム」の開発

左右の車輪をそれぞれ専用のモータで個別に駆動することで、走行性能を向上
最適設計したハブベアリングとドライブシャフトを一括提供することで、性能とコストを両立

現在普及が進んでいるワンモータ式電気自動車では、一般にディファレンシャルギヤ(差動歯車装置)を介して1台のモータの動力を左右輪に配分するため、その左右の駆動力は常に等しく、氷結路などではスリップしやすくなります。

本駆動システムは2組のモータおよび減速機から成るモータ駆動装置とインバータで構成され、左右の車輪をそれぞれ専用のモータで駆動し、車両の走行状態に応じて左右の駆動力を適正に制御することができ、旋回性能やスリップ路面の走破性などの走行性能が大きく向上します。さらに、本駆動システムは、従来のサスペンション構造を変更することなく車両に搭載(オンボード)できるため、車両開発コストの削減が可能です。



次世代ドライブシャフト「アドバンスドドライブシャフト モジュール」の提案を開始

ドライブシャフトの開発リードタイムを短縮するとともに、モジュール商品として小型・軽量化を図り、
自動車の乗り心地や燃費を向上

エンジンからの動力は、変速機、ディファレンシャルギヤ(以下、デフ)を経てドライブシャフトによりタイヤに伝達されます。

ドライブシャフトは、等速ジョイント(以下、CVJ)を用いることで、入力軸であるデフ軸とタイヤを支持するハブベアリング軸が角度を変えながら回転しても、常に同じ回転速度で滑らかにトルクを伝達する重要な役割を担っています。

自動車のデフやハブベアリングの仕様、車両トルクなどの要求は車種によって異なるため、これまでドライブシャフトは、要求仕様に合わせて個別に設計したCVJやシャフトを組み合わせていました。しかしながら、個別設計品は、試作と評価を繰り返してから量産するため、開発リードタイムが長くなるという課題がありました。

「アドバンスドドライブシャフト モジュール」は、タイヤ側に「プレスコネクトスプライン・ハブジョイント」を適用し、要求トルクごとに標準・共通化したCVJとハブベアリングをプレスコネクト方式で接合することで、軽量化と高性能化を実現します。

一方、デフ側は同じく要求トルクごとに標準・共通化したCVJと個々に設計するステム(軸)部を電子ビーム溶接で高精度に接合した「EBWDドライブシャフト」を組み合わせて、タイヤ側とともにモジュール商品として一括提供することで、ドライブシャフトの開発リードタイムを従来の1/2以下に短縮します。



「東京モーターショー2015」へ出展

当社は「New Technology Transforms the Next」をテーマに、2015年10月29日(木)～11月8日(日)で開催された「東京モーターショー2015」へ出展いたしました。

次世代用「2モータオンボード駆動システム」を搭載した実物の車両をはじめ、次世代ステアリング用メカニカルクラッチユニット(MCU)を搭載したステアパイワイヤの特長を体感できるドライブシュミレータや次世代ドライブシャフト「アドバンスドドライブシャフト モジュール」等、電動化、低燃費化、高効率化に貢献する商品を多数出品し、好評をいただきました。



会社情報

■ 当社の概要 (平成27年9月30日現在)

| | |
|------|-------------------------------|
| 社名 | NTN株式会社 |
| 商標 | NTN |
| 創業 | 1918年3月 |
| 設立 | 1934年3月 |
| 資本金 | 543億円 |
| 従業員 | 5,174名(連結:24,030名) |
| 事業内容 | 軸受、等速ジョイント、 精密機器商品等の製造及び販売 |

株式情報

■ 株主数及び株式数 (平成27年9月30日現在)

| | |
|---------|--------------|
| ●株主数 | 25,003名 |
| ●発行済株式数 | 532,463,527株 |

■ 大株主 (平成27年9月30日現在)

| 株主名 | 所有株式数 (千株) | 持株比率 (%) |
|--|---------------|-------------|
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 41,718 | 7.83 |
| 第一生命保険株式会社 | 23,278 | 4.37 |
| 明治安田生命保険相互会社 | 22,467 | 4.21 |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行 | 21,674 | 4.07 |
| NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE 15PCT TREATY ACCOUNT | 19,633 | 3.68 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 17,543 | 3.29 |
| 三菱UFJ信託銀行株式会社 | 11,870 | 2.22 |
| NTN共栄会 | 11,714 | 2.20 |
| 野村信託銀行株式会社(投信口) | 9,773 | 1.83 |
| 日本生命保険相互会社 | 9,206 | 1.72 |

ホームページのご案内

NTNのホームページでは、株主・投資家の皆様向けに企業情報や財務情報を豊富に掲載しています。最新のトピックスを随時更新し、CSR活動への取り組みや技術関連情報、企業広告の紹介など、幅広い内容となっています。NTNをより深くご理解いただくため、ぜひご覧ください。

<http://www.ntn.co.jp>

■ 役員 (平成27年9月30日現在)

| | |
|-------------------|---------|
| 取締役社長 (代表取締役) | 大久保 博 司 |
| 取締役副社長 (代表取締役) | 井上 博 徳 |
| 専務取締役 | 米谷 福至 |
| 常務取締役 | 寺大 啓秀 |
| 常務取締役 | 橋本 逸浩 |
| 常務取締役 | 澤藤 秀武 |
| 取締役 | 後仲 浩一 |
| 取締役 | 梅本 文彦 |
| 取締役 | 白鳥 則貴 |
| 取締役 | 川島 二彰 |
| 取締役 | 川田 治穂 |
| 取締役 | 和田 穂男 |
| 取締役 | 引野 廣 |
| 取締役 | 加護 瑞忠 |
| 取締役 | 川上 忠 |

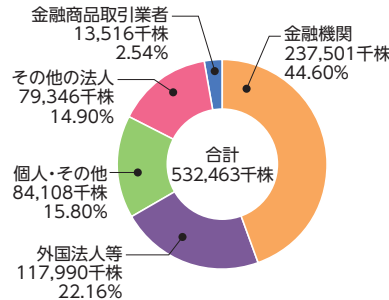
※1印は会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
※2印は会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

| | |
|-------|-------|
| 常務取締役 | 近藤 河迫 |
| 常務取締役 | 岩井 高尾 |
| 常務取締役 | 小川 松磨 |
| 常務取締役 | 赤松 拓 |
| 常務取締役 | 播磨 一 |
| 常務取締役 | 岡本 隆 |
| 常務取締役 | 朱中 健 |
| 常務取締役 | 萩原 正 |
| 常務取締役 | 三上 浩 |
| 常務取締役 | 江野 健 |
| 常務取締役 | 野上 正 |
| 常務取締役 | 山本 浩 |
| 常務取締役 | エル 正 |

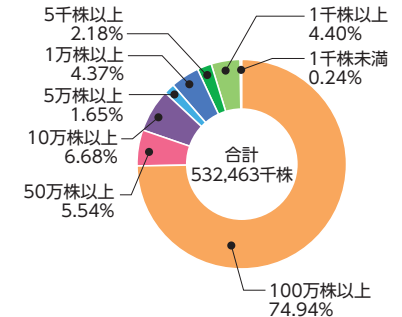
会計監査人 新日本有限責任監査法人

■ 株式分布状況 (平成27年9月30日現在)

● 所有者別



● 所有株数別



▲株主・投資家情報



▲統合報告書
[NTNレポート](「年次報告書」)



▲おしえて!!ベアベア
親子で学ぼうベアリング

■ 主要な事業所(平成27年9月30日現在)

| | |
|-----------|-------------------------|
| 本 社 | 大阪市西区京町堀1丁目3番17号 |
| 桑 名 製 作 所 | 三重県桑名市大字東方字土島2454番地 |
| 長 野 製 作 所 | 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪14017-11 |
| 磐 田 製 作 所 | 静岡県磐田市東貝塚1578番地 |
| 岡 山 製 作 所 | 岡山県備前市畠田500番地の1 |

【自動車事業本部】

| | |
|----------|---------------------|
| 関東自動車支社 | 東京都港区港南2丁目16番2号 |
| 宇都宮自動車支社 | 栃木県宇都宮市馬場通り1丁目1番11号 |
| 北関東自動車支社 | 群馬県太田市飯田町1220-1 |
| 東海自動車支社 | 愛知県安城市三河安城町1丁目4番地4 |
| 浜松自動車支社 | 浜松市中区板屋町110番地の5 |
| 大阪自動車支社 | 大阪市西区京町堀1丁目3番17号 |
| 広島自動車支社 | 広島市南区的場町1丁目2番19号 |

【産業機械事業本部】

| | |
|-----------|-------------------|
| 東 京 支 社 | 東京都港区港南2丁目16番2号 |
| 西 関 東 支 社 | 相模原市中央区中央3丁目14番7号 |
| 名 古 屋 支 社 | 名古屋市中区錦2丁目3番4号 |
| 大 阪 支 社 | 大阪市西区京町堀1丁目3番17号 |
| 広 島 支 社 | 広島市南区的場町1丁目2番19号 |
| 九 州 支 社 | 北九州市小倉北区米町1丁目1番7号 |

【アフターマーケット事業本部】

| | |
|-----------|------------------|
| 東 日 本 支 社 | 東京都港区港南2丁目16番2号 |
| 中 日 本 支 社 | 名古屋市中区錦2丁目3番4号 |
| 西 日 本 支 社 | 大阪市西区京町堀1丁目3番17号 |

■ 主要な子会社(平成27年9月30日現在)

| |
|---|
| 株式会社NTN三重製作所 |
| 株式会社NTN金剛製作所 |
| 株式会社NTN宝達志水製作所 |
| 株式会社NTN能登製作所 |
| 株式会社NTN袋井製作所 |
| 株式会社NTN赤磐製作所 |
| NTN精密樹脂株式会社 |
| NTN USA CORP. (アメリカ) |
| NTN BEARING CORP. OF AMERICA(アメリカ) |
| NTN DRIVESHAFT, INC. (アメリカ) |
| AMERICAN NTN BEARING MFG. CORP. (アメリカ) |
| NTN-BOWER CORP. (アメリカ) |
| NTN BEARING CORP. OF CANADA LTD. (カナダ) |
| NTN do Brasil Produção de Semi-Eixos Ltda.(ブラジル) |
| NTN-SNR ROULEMENTS(フランス) |
| NTN TRANSMISSIONS EUROPE(フランス) |
| NTN Wälzlager (Europa) G.m.b.H. (ドイツ) |
| NTN Kugellagerfabrik (Deutschland) G.m.b.H. (ドイツ) |
| NTN BEARING-SINGAPORE (PTE) LTD. (シンガポール) |
| NTN MANUFACTURING (THAILAND) CO., LTD. (タイ) |
| 恩梯恩(中国)投資有限公司(中国) |
| 南京恩梯恩精密機電有限公司(中国) |
| 上海恩梯恩精密機電有限公司(中国) |
| 廣州恩梯恩裕隆傳動系統有限公司(中国) |
| 恩梯恩LYC(洛陽)精密軸承有限公司(中国) |



株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日
- 定時株主総会 事業年度終了後3か月内
- 基準日 毎年3月31日の最終の株主名簿に記載または記録された株主をもって、その事業年度に関する定時株主総会において権利を行使することができる株主とします。その他必要あるときは、あらかじめ公告して、基準日を定めます。
- 剰余金の配当 3月31日
- 受領株主確定日
- 中間配当 9月30日
- 受領株主確定日
- 公告方法 電子公告
ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。公告掲載の場合のホームページアドレス
《<http://www.ntn.co.jp>》
- 株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関
〒100-8212 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社

- 同 連 絡 先 〒541-8502
大阪市中央区伏見町3丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話(通話料無料) 0120-094-777
- ご 注 意 1. 株主様の住所変更、買取・買増請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記載された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。